

HONDA CB750K クラッチ

A 分解

- 1 クラッチカバーを外し、クラッチレバーからクラッチケーブルを外す。クラッチケース取付ボルトをはずし、ケースを取外す。

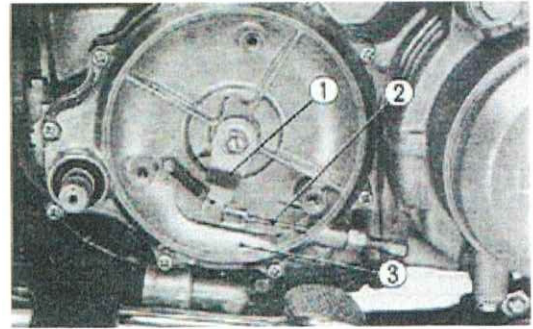


図 2 ①クラッチレバー ②クラッチケーブル
③クラッチケース

- 2 クラッチリフター取付ボルト4本をはずして、クラッチリフタープレートとスプリングを取外す。

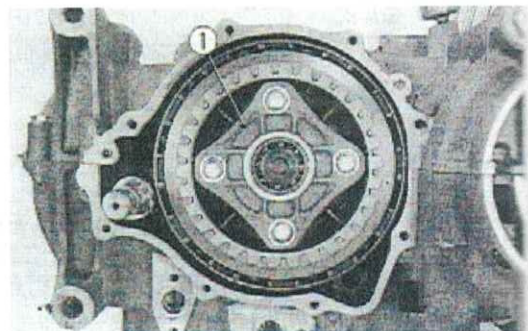


図 3 ①クラッチリフタープレート

- 3 16mmロックナットレンチ(専用工具No. 07916-2830000)を用いてクラッチロックナットを外してから、舌付ワッシャー、スプリングワッシャーを取り、そしてクラッチセンターを取外す。

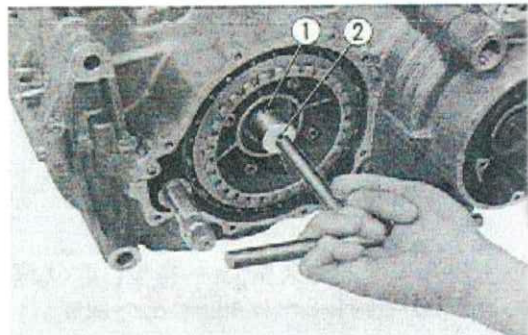


図 4 ①クラッチロックナット ②ボックスレンチ

- 4 クラッチフリクションディスクとクラッチアウターリングをクラッチアウターからはずし、「そして、フリクションディスクとクラッチプレートを外す。
- 5 クラッチワッシャー、クラッチプレッシャープレートをはずして、メインシャフトから、クラッチアウターを取外す。

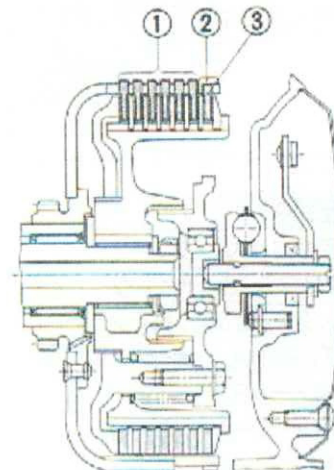


図 5 ①クラッチフリクションディスク
②クラッチアウターリング
③クラッチフリクションディスク

B 組立

- 1 分解の逆順序に組立てる。
- 2 クラッチアウターと25mmスプラインワッシャーをメインシャフトに組込む。ワッシャーをスプラインにかけて、クラッチプレッシャープレートを組込む。
- 3 フリクションディスク7枚(K0は6枚)、クラッチプレート6枚、およびクラッチセンターをクラッチアウターに組込む。(K0はクラッチアウターリングをはめる。)

<注意>

クラッチセンターの凸部をクラッチアウターの凹部に図の要領で合わせること。

注意・警告

クラッチ板組みつけ時には必ず1枚1枚にエンジンオイルを塗布すること。
※塗布しないで組みますとクラッチが切れなくなります。

- 4 クラッチセンター、スプリングワッシャー(爪を前方に向ける)、ロックワッシャー、ロックナットを順に組込む。そして16mmロックナットレンチを用いて、締付けトルク4.5~5.0kg・mまで締付ける。
- 5 クラッチスプリング4本を組込み、クラッチリフターボルト4本で固定する。

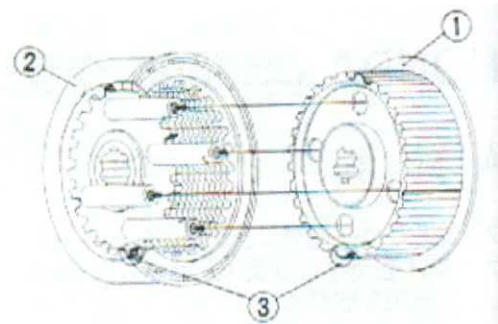


図 6 ①クラッチセンター ②合せ位置
③クラッチアウター

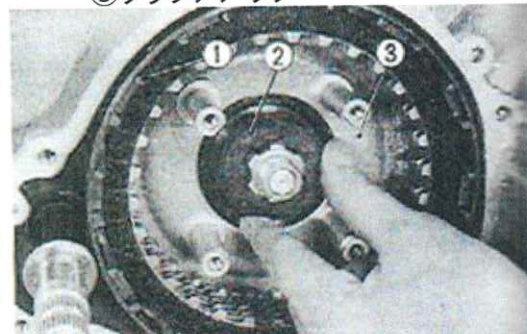


図 7 ①クラッチアウター
②25mmスプラインワッシャー
③クラッチプレッシャープレート

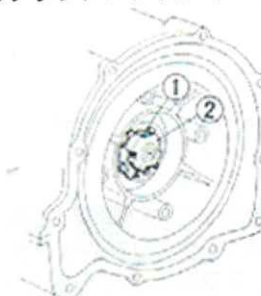


図 8 ①ロックワッシャー ②ロックナット

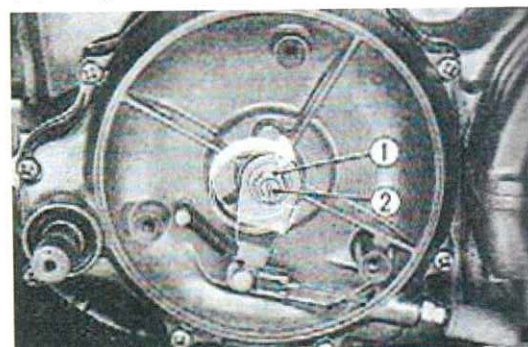
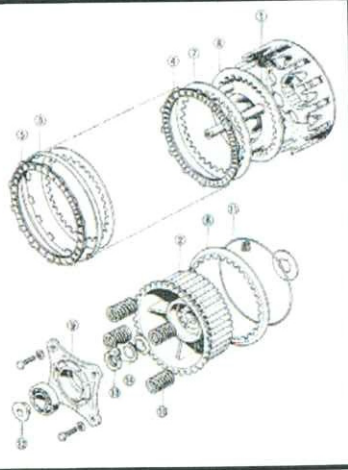


図 8 ①ロックナット ②スクリュー

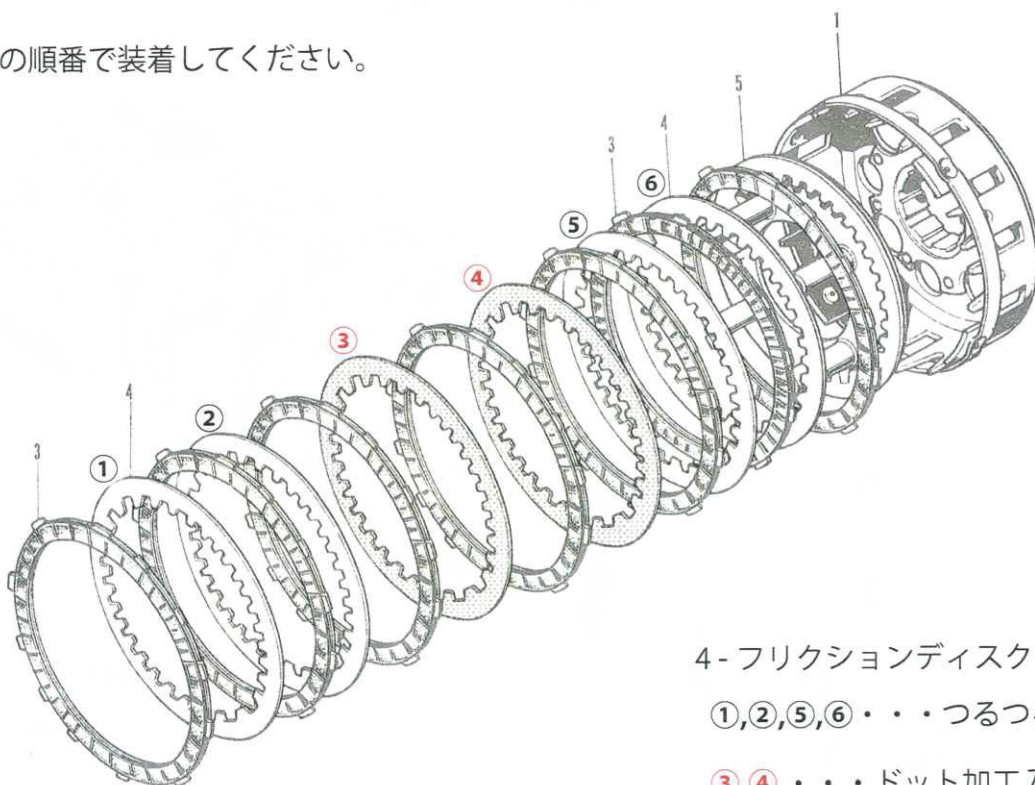
C クラッチ調整

ロックナットをゆるめスクリューを少し重くなるまで右に回し、そこから約1/8~1/4回転左へ戻す。

- ①クラッチアウター
- ②クラッチセンター
- ③クラッチアウターリング
- ④クラッチフリクションディスク
- ⑤クラッチフリクションディスク
- ⑥クラッチプレートA
- ⑦クラッチプレートB
- ⑧クラッチプレッシャープレート
- ⑨クラッチフィルタープレート
- ⑩クラッチスプリング
- ⑪クラッチフィルターピース
- ⑫ロックナット
- ⑬ロックワッシャー



下記の図の順番で装着してください。



4-フリクションディスク

①,②,⑤,⑥・・・つるつるの盤

③,④・・・ドット加工入りの盤